

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		簡易水道負担金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	井村 幸弘
	施策	13	働く場の確保と企業誘致の促進			所属課	商工振興課	担当者名	衛藤 剛
	基本事業	40	企業誘致の促進			所属班	商工振興班	(内線)	1273
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 3	事業連番 11204	法令根拠	成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地方自治法第244条の3の規定に基づき平成18年6月28日に締結した公の施設(簡易水道)の区域外設置および利用に関する「協定書」第5条の規定に基づき協定した、合志市、菊陽町内の給水区域において各市町に所在する企業等の使用水量の合計の割合とし、当該年度の負担割合の算出は前年度の使用水量の割合により、負担金を支出している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	簡易水道事業者からの請求により負担金支出(年2回)
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特に無し
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	簡易水道事業者へ負担金支出 平成26年度は請求が無かった。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 簡易水道事業者からの請求により負担金支出
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由 事業統合による減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	給水受益者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 社
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適切に負担金を支払う	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 回
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
①活動指標	ア									
	イ									
②対象指標	ア	社	7	7	7	7	0	0	0	0
	イ									
③成果指標	ア	回	1	1	1	1	0	0	0	0
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	893	785	738				
	(A)事業費計	千円	893	785	738	0	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	893	785	738	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	2	0	0	0
	延べ業務時間	時間	2	2	30	13	0	0	0	
	(B)人件費計	千円	8	7	119	51	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	901	792	857	51	0	0	0	

事務事業名	簡易水道負担金事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 適正に負担金の支払いが完了した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 引き続き達成予定である。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 負担金を支払うのみなので、向上余地は無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 事業番号11203工業用水道負担金事業も負担金を支払うのみの事務事業であり、類似していることから統合可能である。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 負担金を支払うための最低限の事務のみであるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 負担金を支払うための最低限の事務のみであるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 負担金の債権者は合志市であるため公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 負担金の債権者は合志市であるため公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

適切に負担金を支払うことができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 事業番号11203工業用水道負担金事業も負担金を支払うのみの事務事業であり、類似していることから統合可能である。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					